

Panasonic

Panasonic NPOサポート ファンド for アフリカ

2015年助成事業募集

アフリカ諸国における社会課題の解決の促進に向けて

NPO／NGOが持続的に成長できるよう、広報基盤の強化を支援します。



助成分野

アフリカ分野

アフリカ諸国の課題に取り組む
NPO／NGOの広報基盤の強化

応募受付期間

2014年

7/16 水～31 木

「Panasonic NPOサポート ファンド for アフリカ」趣旨

パナソニックは、持続可能な社会の実現に向け「育成と共生」を活動理念に、「環境・エネルギー」と「次世代育成支援」を重点分野とした企業市民活動をグローバルに展開しています。

さらに、国際社会の一員としての責務を果たし「国連ミレニアム開発目標（MDGs）」の達成に向けた一助となることに期待して、アフリカ諸国で活動するNPO/NGOの広報基盤を強化支援するプログラム「Panasonic NPOサポート ファンド for アフリカ」を2010年より開始しました。

現在、アフリカ諸国は、貧困や飢餓の問題とともに、教育や保健医療などの分野において様々な社会課題を抱えており、その解決が求められています。

「Panasonic NPOサポート ファンド for アフリカ」は、こうしたアフリカの様々な社会課題を解決すべく活動しているNPO/NGOの認知を高め、理解を深め、共感をえるための活動を支援するものです。各団体の活動内容やアフリカ諸国の状況を広く伝えることにより、人々の理解を深化させ、団体の会員・支援者の拡大や経営基盤の強化を図ることを狙いとしています。

パナソニックはこの活動を通じて、アフリカ諸国の課題解決や、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

パナソニック株式会社

募集概要

助成対象団体

- アフリカ諸国の課題に取り組む民間非営利組織であること
 ◆日本国内に主たる事務所をもっていること
 ◆法人格をもっていること
 ◆政治、宗教活動を目的とする団体ではないこと
 ◆設立から3年以上の活動年数を有すること
 ◆日本国内、あるいはアフリカの事務所に有給常勤スタッフが在籍していること（インターンは含まない）
 ◆日本国内に常勤スタッフが在籍していること
- ※Panasonic NPOサポートファンド「環境・子ども」両分野と、重複しての応募は出来ません
 ※財政規模1千万円以上の団体を想定しています

助成対象事業

- アフリカ諸国の課題解決に取り組むNPO/NGOにおける広報・発信・啓発事業
 ◆各団体の認知を高め、理解を深め、共感をえるための広報活動
 ◆広報体制の強化、広報活動に携わる人材の育成
 ※助成事業期間内に、多くの方の理解促進を目的とした対面の団体活動の報告の場を日本国内で一回以上設けること

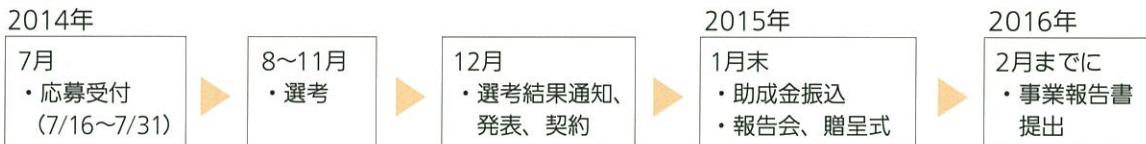
助成額

- ◆一団体への助成額は、上限100万円（総額400万円）
 ※助成金の使途は、すべて広報・発信・啓発活動にかかるものと限定します

助成事業期間

- ◆2015年1月1日～2015年12月31日の間に実施するもの
 ※継続して助成することができますが、助成期間は3年間まで
 継続の場合でも、応募申請書は都度提出いただき、選考の上での決定とします

スケジュール（予定）



応募申請書の受付期間

2014年7月16日（水）～7月31日（木） *当日必着

応募要項／申請書のダウンロード

<http://panasonic.co.jp/citizenship/pnsf/africa/>

事務局および問合せ先

パナソニック株式会社 ブランドコミュニケーション本部 CSR・社会文化グループ
 〒105-8301 東京都港区東新橋1-5-1 パナソニック東京汐留ビル
 担当：田中（TEL：03-3574-5665）

※ご連絡は、平日（月曜日から金曜日の10：00～17：00）にお電話でお願いします

Panasonic NPOサポートファンド for アフリカ 体験談



「広報に力を入れたいけれど、担当者は1人。専門知識も技術もない。それを補佐できる、人材もいない。」そんな長年の悩みを解消することができたのが、本ファンドでした。

2011年は、広報担当者の人材育成と広報チームの組織化、2012年には広報チームの強化と映像コンテンツの制作、2013年は、海外用サイトの制作と、3年間の助成で広報体制が整い、財政基盤も安定化に向かっています。2014年は、チーム内で役割分担をしながら、毎月設定した具体的な目標に向かって、効率的に広報活動に取り組んでいく予定です。

誰もが頭を悩ますファンドレイジング。効率的に努力していくためには、広報基盤の強化です。今後、本ファンドを通して、日本のNGOの組織基盤が整い、発信力をともに高めていけたらと願っています。

特定非営利活動法人 テラ・ルネッサンス
 創設者・理事 鬼丸 昌也

事業活動の充実に支援者を増やすことは大切と考えながらも現場活動に追われ、また人員と予算を投入できず、広報がままならない悩みがありました。本ファンドを知り、「この機会に広報活動に弾みをつけたい！」との思いで応募しました。

初年度には、初めて単独で展示・活動報告会を開催し一般の人々に直接事業内容を伝え、新たな会員、寄付金の獲得につながりました。その後も活動紹介DVD、活動地ケニアの人々のビデオレター、土のうに描く現地の子供たちの夢、そして3年目に飛び出す絵本の団体パンフレット（日本語版・英語版）など、アイデアを形にし広報ツールを充実させました。助成で実施した活動より得た経験・知見は大きな財産であり、これを機に今後も広報活動を展開していきます。



特定非営利活動法人 道普請人
 職員 酒井 樹里

2014年助成団体についてはサイトからご確認ください

http://panasonic.co.jp/citizenship/pnsf/africa/2014/afr_jyosei.html